



アドプト現場に **ADOPT REPORT** おじゃましました！

Adopt 19年目

吉野川を私たちの手でもっときれいに!
清掃活動中の現場に取材にうかがいます。
活動日が決まったら、まずは事務局にお知らせください。



約30年の歴史を持つ藍住町スポーツ少年団には、現在、サッカー、バレー、野球、日本拳法などさまざまなスポーツに励む24団体が所属しています。メンバーは小学生約500人、指導者約100人、保護者や地域関係者ら育成母集団を合わせると1000人近くになります。スポーツを通じて青少年の体と心を育てることを目的に、駅伝大会、親睦大会、一泊研修、地域ボランティアなどさまざまな活動を行っており、年4回の河川清掃もそのひとつです。アドプト・プログラム吉野川としては19年ですが、それ以前から河川清掃に取り組んできました。「昔はダンプカーに何杯もゴミがありました、今はすいぶん少なくなったね」と本部長の渡邊正光さん。

藍住町スポーツ少年団

記念撮影を終えて、さあ清掃！ 担当区域は吉野川北岸、名田橋から下流へ600mです。キャプテンを中心にきびきびと動き、小さい子の拾ったゴミを上級生が持つてあげたりと、スポーツmanshipが実際にさわやかです。手際よく清掃を終えると、それぞれのチームの練習へ去っていきました。



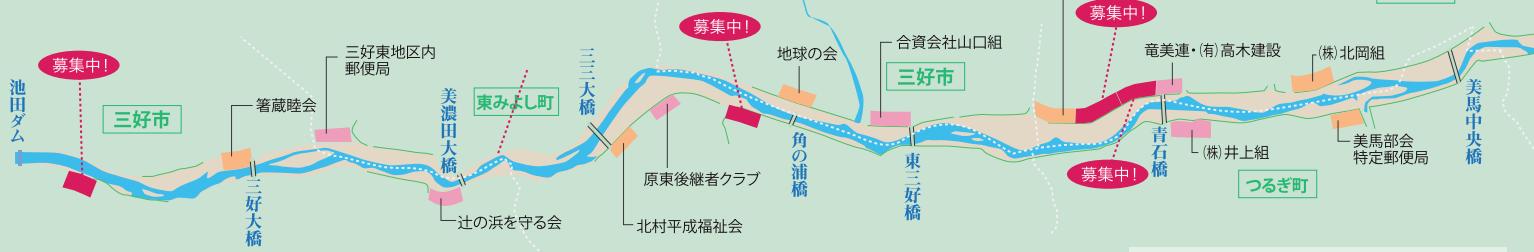
リオ五輪金メダル・バドミントンの松友美佐紀選手も藍住町スポーツ少年団の一員として河川清掃に汗を流していたとか。キラキラした瞳のこの子達から、世界に羽ばたくアスリートが生まれるかもしれませんね。

藍住町河川敷運動公園パークゴルフ場に未来のオリンピアンが大集合！



四国三郎・吉野川はかけがえのない私たちの家族 参加しよう！アドプト・プログラム吉野川

徳島の宝物“吉野川”を私たち自身の手で守ろうというボランティア活動で、美しい吉野川をより美しく——さあ、いっしょに始めませんか！



①アドプトとは“養子縁組”的こと

吉野川の土手や河川敷を子どもに見立て、その一定区間と企業や住民グループが養子縁組(Adopt)します。吉野川を自分の子どものようにかわいがってくださいね。

②清掃美化ボランティアを行います

担当する区間の清掃・美化活動を定期的に行います。
活動を続けることで、どんどん吉野川への愛着が深まります。

③看板が立ちます

吉野川の土手や河川敷に、団体の名前を記した看板が立ちます。ちょっと誇らしい気持ちになります。

④こんな効果があります

ゴミが少なくなり、吉野川が美しく、清潔に保たれます。
それと同時に、参加した人の心まできれいになります。
汗を流してゴミを拾ったら、ゴミを捨てられなくなります。
また、この活動を目にする多くの人の環境への意識を高め、
川を大切にする人の輪がますます広がることが期待できます。



■のエリアは団体募集中です。
それ以外も縁組可能なエリアはありますのでどうぞ気軽にお問合せください！
吉野川交流推進会議 ☎088-621-2743

